

国際協力研修 JICA「インドネシア社会保障強化プロジェクト医療保険分野研修」 (2015年8月24日～9月2日:うち国立保健医療科学院 31日午前)

1. 本研修の概要

インドネシアは2019年1月の国民皆保険達成を目標としており、2014年1月1日に全国をカバーする単一の保険者として BPJS Health が設立されたところである。今後加入者の増加や医療保険使用の普及、医療提供体制の改善に伴い医療支出も増加することが予想され、国民の医療ニーズに対応しつつ制度の持続性を確保するため、収入支出両面にわたる対策が必要となっている。

このような背景のもと、本研修においては「財政的な持続性」に焦点を当て、1. 医療給付に必要な収入の確保、2. 必要な医療を確保しつつ支出増大を管理、を中心に日本の経験を共有し、議論を深めることとした。

2. 実施方法

研修は、複数の協力機関により実施された。主な協力機関および担当内容としては、政策研究大学院大学（日本の医療財政及び医療提供システム、財政的持続性確保のための取組みに関する講義）、地方の市町村保健センター及び自治体立病院（健康増進活動及び地方の自治体立病院の経営に関する講義及び見学の受け入れ）、市町村国保担当課（国民健康保険の運営に関する講義及び見学の受け入れ）であった。

国立保健医療科学院では、2015年8月31日（月）の午前に「医療の経済評価」に関する講義を担当し、国立保健医療科学院内講義室で実施した。内容としては、近年日本を含め諸先進国で議論されている医療の経済評価につき、その基本的な考え方及び具体的な手法、実際の適用例を理解するものであった。インドネシアでもこのような考え方の導入が議論されており、日本の取組みに関する質問があった。

3. 参加者

参加者は、インドネシアの公的医療保険に係る政策立案担当者および地方の保健局等から計14名であった。

【於：本院 玄関ロビー】

